



● 草の根協力支援型

2017年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	エクアドル共和国
2. 事業名	ピチンチャ県カヤンベ市の学校菜園と学校給食の実施を通じた子ども達の学校生活改善プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	エクアドル共和国の対象地を含む周辺地域での2016年の貧困率は52.6%に上っている。本事業の対象地であるピチンチャ県カヤンベ市の2つの地区は、先住民率が高い地域であり人々の貧困状況は特に厳しい。標高の高い遠隔地に点在する村が多く交通の便も悪く食生活も偏っている。子ども達は栄養不足、炭水化物や脂肪に偏った食事のために貧血が多いことが懸念されている。このような状況に対応するため政府は配布効率の良いシリアルバーと乳飲料を配給するようになった。しかしこの時期の子どもは栄養必要量が大きいことや、子ども達の多くが朝食を摂らずに1時間以上歩いて登下校しており、子ども達が健康に生活するための栄養価としてはなお不足している。保護者の栄養の知識や食への意識を育て、学校菜園への農作業参加、給食の調理、給食費を払う、食材の提供など、それぞれの地域にあった形での保護者の参加を促し、伝統作物や新鮮な葉物野菜などの食材による満足な栄養を摂取できる給食を安定して提供することで、子ども達が空腹を感じることなく健康な学校生活を送れるようになることは、子ども達はもとよりその家庭にとって切実なニーズとなっている。
4. プロジェクト目標	対象校において学校菜園と学校給食の実施により、子ども達が栄養面でより健康的な学校生活を送れるようになる。
5. 対象地域	カヤンベ市カンガウア地区およびオルメド地区
6. 受益者層（ターゲットグループ）	対象地域の6校の3歳から12歳までの子どもたち約800人
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 持続可能な学校給食の実施のための協議会が事業実施校6校で、また、委員会が各学校で組織される。 2. 子ども達の食の改善のために、対象校の学校菜園の実施とその収穫物の給食への使用が促進される 3. 対象校の子ども達の栄養状態が改善される基盤ができる 4. 事業の成果を関係機関と共有する <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校給食の実施とそれを目指したプロセスを定着させるための、6校合同の学校給食連絡協議会と各校での学校給食委員会の設置と定期的な開催 2. 食への理解と学校給食実施を支えるための学校菜園の実施を目指した、保護者や教師等を対象にした農業、栄養をテーマにした講座の実施 3. 子ども達の栄養についての認識を高め、学校給食の質の改善を目指した、保護者を対象にした調理実習の実施や、給食の記録を支援する 4. 報告会を行い、事業についての意見の交換と成果の共有
8. 実施期間	2019年3月～2022年2月（3年0ヵ月）
9. 事業費概算額	9,998千円
10. 事業の実施体制	<p>【日本側】プロジェクトマネージャー1名、経理、現地指導者育成担当1名、国内経理補佐1名、短期専門家2名</p> <p>【エクアドル側】現地業務補助員2名、現地調整員1名、アドバイザー1名</p>
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人エクアドルの子どものための友人の会（SANE）
2. 活動内容	1989年の設立より教育を通してエクアドルの人々に協力するという目的で、キト市、カヤンベ市、クエジャヘ地区の中高校生への奨学金支援（233名）、同地域の学校施設建設修理、2002年よりカヤンベ市における学校菜園事業、他に学校とその周辺の植林事業などを行う。